

平成 21 年 1 月 21 日

在学生、在校生、保護者、卒業生、関係者の皆様へ

学校法人大阪産業大学

理事長 古谷七五三次

### 本学園の資産運用に関する新聞報道について

1 月 20 日付け新聞各紙に本学園の資産運用に関する記事が掲載されていますが、この件についてご説明致します。

記事内容は概ね本学園が資産を運用する中で、デリバティブ取引による評価損が 40 億円から 60 億円に上るといふものです。

本学園が運用する種々の資産のなかにデリバティブを組み込んだ仕組み債があり、米国発の金融危機に始まる円高の影響を受けて、現在の時価で数十億の評価損を生じております。これは、仮に現在すべての運用資産を解約ないしは売却すればの仮定の話であり、実際にすべてを現金化しなければならない経営状況にはありませんが、計算上それだけの額が想定できます。

昨年後半に、多くの大学で同様の評価上の損失が判明しました。中には実際に多額の資金を失った法人もありました。本学はその類例ではなく、計算上の数値ですが、本年 1 月に文部科学省が資産運用に慎重に取り組むように通知されており、今後はその通知に従って安全性と健全性を優先した資産運用を行って参ります。

とは言え、本学園の資産運用の年間収益は過去に順調な運用益を上げており、今年度も現時点まで収益を上げております。但し、上記の評価上の損が算出されることがないように運用を行うことが現在最も求められていることでもあります。

本学園に関係される皆様には、この報道が出たことによってご心配をおかけしており、まことに申し訳なく存じます。

本学園は、文科省の指導、助言を仰ぎながら、他法人の例も参考にして、80 年の歴史を更に深めるべく決意したことをお伝えして、お詫びとご報告と致します。

なお、本学園の経営状況は平成 19 年度の決算書をホームページに掲載しておりますのでご覧頂くと共に、今後も適時情報公開を致すことを申し添えます。